

## 目標達成計画

作成日: 令和5年 5月 10日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1		運営推進会議資料は、現行の利用者の入退居状況、研修や防災訓練等に加え、介護事故やヒヤリハット状況の報告も望まれる。また、グループホーム単独での開催を検討してほしい。	運営推進会議資料を修正し、事故やヒヤリハットの報告を加え、推進員の方々に運営上の指導を頂けるようにしていく。グループホーム単独で開催していく。	運営推進会議の資料を修正し、事故やヒヤリハットの件数、内容、対策を報告し、運営上の指導が頂けるよう努める。感染症の状況をみながら、年度を通して1回以上、対面での会議を開催できるよう検討する。	12ヶ月
2		事業所の判断で、消防署への立ち合いの要請をしていない。消防署の都合で立ち合えない場合もあるが、事業所としては要請を行うことが求められる。また、運営推進委員の避難訓練への参加を図り、委員の協力を得ながら地域との協力体制構築に向けた取り組みが望まれる。	消防署立ち合いの避難訓練を実施し、防災の力量向上を図る。運営推進会議の開催の中で防災訓練を企画し、推進委員の方々に参加して頂き、協力体制構築に向け取り組んでいく。	9月までに、消防署立ち合いの避難訓練を実施する。感染症の状況をみながら、対面での運営推進会議を開催し、その際に防災訓練を企画し、推進委員の方々に参加して頂く。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。